

平成25年度施策評価シート

| | | | |
|-------------------|--|---|------------------|
| 基本施策 | あらたな文化の創造と振興を図る | | |
| 総合計画での位置付け | 政策 | 5 | 「ゆたかさ」のあるまちをめざして |
| | 分野 | 4 | 文化 |
| 主要な計画 | 高山市文化芸術振興指針 | | |
| 基本施策を実施する背景や課題・目的 | <ul style="list-style-type: none"> ・文化を享受しあらたな文化を創造する主体は市民であるという基本に立ち、市民がさまざまな文化にふれたり、主体的な文化・芸術活動が行える環境づくりなどがもめられている。 ・本施策は、市民がさまざまな文化にふれたり、主体的な文化・芸術活動が行える環境をつくることを目的としている。 | | |

1 概要

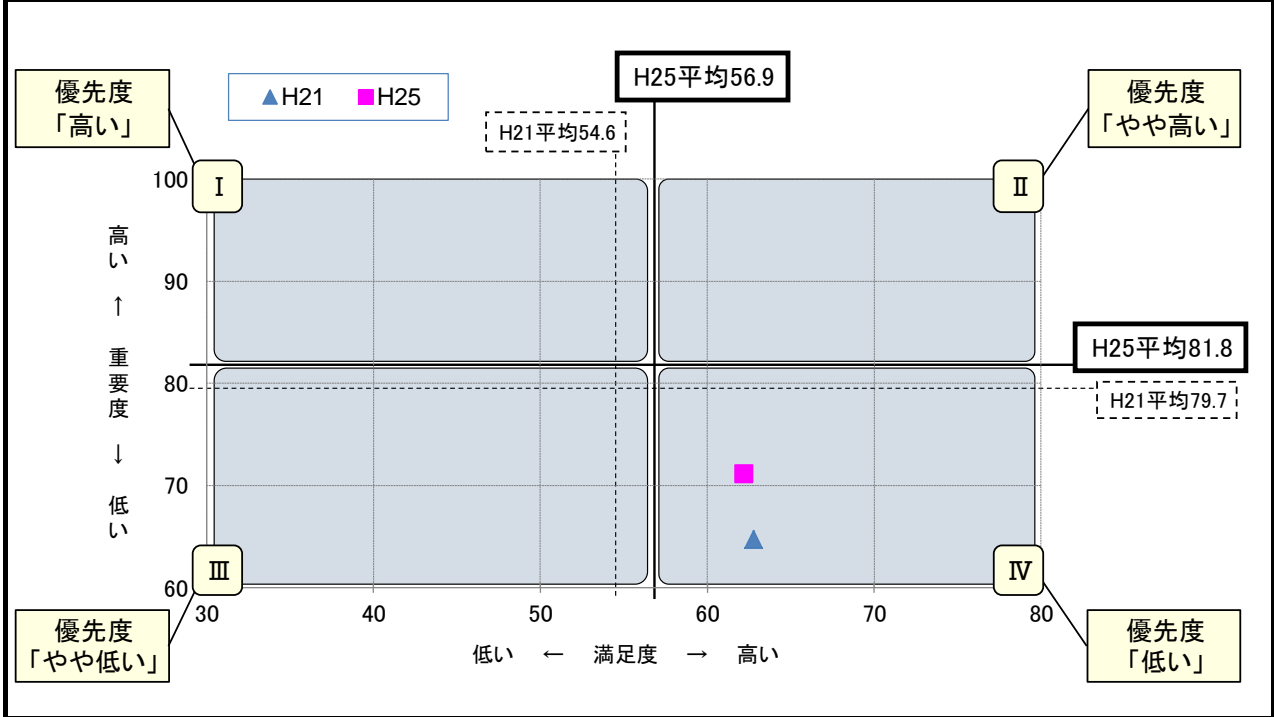
| 施策 | 目的 | 施策の内容 | 対象 | 施策の内容の目的 | これまでの取り組み | 担当部局 |
|------------|-----------------------------------|-------------------|--------|---|---|-------|
| 1 文化的環境の醸成 | 市民が文化芸術を身近に感じ、主体的に活動が行える環境の整備を図る。 | 市民が主体となった文化の創造や振興 | 各種文化団体 | 市民の自主的な文化芸術活動を支援することにより、文化芸術活動が活発化する | <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭や芸能祭など市民が主体となった文化芸術活動が盛んに行われている。 ・市民の自主的な文化芸術活動を施設利用や補助金等により支援している。 ・YANSA21フェスティバルが市民に息づいたものとなるよう、実行委員会に対して支援している。 | 市民活動部 |
| | | 文化意識の高揚 | 市民 | 美術展覧会等の開催を通じて、市民が文化芸術を身近に感じ親しむことができる | <ul style="list-style-type: none"> ・3つの美術展覧会を開催している。 ・市民が優れた文化芸術鑑賞できる機会を提供している。 ・文化芸術振興を象徴するイベントとして、市民一人ひとりが主役の飛騨高山文化芸術祭がスタートした。 | 市民活動部 |
| | | 文化活動施設の整備 | 市民 | 計画的な施設整備と適正な管理運営により、市民が安全で快適に利用することができる | <ul style="list-style-type: none"> ・市民文化会館のホール客席や非常用放送設備の改修を行うなど、必要な施設整備を行うとともに適正な管理運営を行っている。 | 市民活動部 |
| | | 文化活動を担う人材の育成・強化 | 市民 | 文化芸術活動を担う新たな人材が生まれ、活動機会や交流を広げることができる | <ul style="list-style-type: none"> ・文化ボランティアの活用や優れた業績をあげた市民の激励・奨励・顕彰を行っている。 | 市民活動部 |

2 指標の推移

| 指標名 | 単位 | 関連 施策 | 好まし い 方向 | H21 | H22 | H23 | H24 | 目標 | 指標値の把握方法 目標値設定の考え方 |
|------------------|---|----------|----------------|-------|-------|-------|-------|-------|------------------------------|
| 文化振興事業補助団体 | 団体 | 1-ア | ↑ | 7 | 9 | 12 | 14 | 7 | 実績に基づく推定 |
| 市美術展覧会の応募点数 | 点 | 1-イ | → | 319 | 306 | 298 | 333 | 300 | 実績に基づく推定 |
| 市美術展覧会の入場者数 | 人 | 1-イ | → | 2,049 | 2,063 | 2,132 | 2,019 | 2,000 | 実績に基づく推定 |
| 市民文化芸術鑑賞事業の実施回数 | 回 | 1-イ | ↑ | 4 | 4 | 10 | 10 | 10 | 実績に基づく推定 (H23～支所地域にも事業拡大) |
| 市民文化芸術鑑賞事業への参加者数 | 人 | 1-イ | ↑ | 3,838 | 3,052 | 6,369 | 5,837 | 8,000 | 開催事業が全て満席時の入場者数 |
| 文化伝承館利用者数 | 人 | 1-ウ | → | 3,347 | 3,391 | 2,460 | 3,190 | 3,500 | 実績に基づく推定 |
| 担当部局 | 補足説明 | | | | | | | | |
| 市民活動部 | <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度に「高山市文化芸術振興指針」を策定した。 ・市民文化芸術鑑賞事業は、平成23年度から支所地域の文化ホールなど実施ホールを拡大した。 ・子どもたちの夢を育て、優れた文化芸術にふれ、体験できる機会の充実を図るため、平成25年度から子ども夢創造事業(文化芸術)に取り組む。 ・高山市美術展覧会あり方検討委員会により、市展の運営や開催内容等のあり方、他の美術展の位置づけ等について検討している。 | | | | | | | | |

3 市民アンケートの結果

| | | 現在の「満足度」 | | 今後の「重要度」 | | 市民満足度を高めるために改善等を行う優先度 | |
|-------------|----|-----------|----------------|------------|----------------|-----------------------|----|
| H21 (前回) | 点数 | 62.8 | (平均) (54.6) | 64.7 | (平均) (79.7) | IV | 低い |
| | 順位 | 42施策中 6番目 | | 42施策中 41番目 | | | |
| H25 (今回) | 点数 | 62.2 | (平均) (56.9) | 71.1 | (平均) (81.8) | IV | 低い |
| | 順位 | 43施策中 7番目 | | 43施策中 41番目 | | | |



※「満足度」、「重要度」・・・まちづくり市民アンケートに対する各項目の回答件数をもとに点数化した数値

$$\text{満足度} = \frac{(\text{満足}) \times (50) + (\text{やや満足}) \times (25) + (\text{やや不満}) \times (-25) + (\text{不満}) \times (-50)}{(\text{回答数}) - \{(\text{分からない}) + (\text{無回答})\}} + 50$$

$$\text{重要度} = \frac{(\text{重要}) \times (50) + (\text{やや重要}) \times (25) + (\text{あまり重要でない}) \times (-25) + (\text{重要でない}) \times (-50)}{(\text{回答数}) - \{(\text{分からない}) + (\text{無回答})\}} + 50$$

※市民満足度を高めるために改善等を行う優先度

| | | |
|--------------------------|---|----------------|
| 「満足度」が平均未満で「重要度」が平均以上の施策 | → | I 優先度が「高い」 |
| 「満足度」が平均以上で「重要度」が平均以上の施策 | → | II 優先度が「やや高い」 |
| 「満足度」が平均未満で「重要度」が平均未満の施策 | → | III 優先度が「やや低い」 |
| 「満足度」が平均以上で「重要度」が平均未満の施策 | → | IV 優先度が「低い」 |

4 一次評価(担当部局による評価)

| 担当部局 | | 市民活動部 | |
|----------|-------------------|---|---|
| 施策 | 施策の内容 | 七次総合計画における検証(成果や課題) | 今後の方向性 |
| 文化的環境の醸成 | 市民が主体となった文化の創造や振興 | <ul style="list-style-type: none"> ・補助金や施設利用、後援・共催等による支援や文化芸術団体の情報提供などにより、さまざまなジャンルの文化芸術活動が行われている。 ・飛騨高山文化芸術祭の取組がスタートし、市民が主役となった文化芸術活動が活発化している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨高山文化芸術祭における支援と併せ、市民の主体的な文化芸術活動のさらなる充実を図る。 ・YANSA21フェスティバルをより市民に息づいたものとなるように、新たな方向性で展開する。 |
| | 文化意識の高揚 | <ul style="list-style-type: none"> ・市民主体の美術展、版画び日本画の全国公募展という特色ある3つの公募展の開催を通じ、市民の文化芸術に対する意識が醸成されてきている。 ・音楽や演劇、舞踊など市民が優れた文化芸術鑑賞できる機会を支所地域に拡大し、参加者(鑑賞者)増加している。 ・飛騨高山文化芸術祭の取組により、文化芸術に対する市民の関心が高まってきている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・3つの公募展は、事業の委託化や市民を巻き込んだ実施方法等について検討しながら、地域文化の発信、市民意識のさらなる醸成を図る。 ・質の高い優れた舞台芸術を鑑賞する機会の充実を図る。 ・飛騨高山文化芸術祭は、初回の課題等を分析しながら、より多くの市民が参加できるよう次回開催に向けて準備する。 |
| | 文化活動施設の整備 | <ul style="list-style-type: none"> ・定期点検による施設の安全管理や計画的な修繕・改修を行うことで、施設の安全性や利便性が向上している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・文化活動の拠点となる施設の安全管理の徹底や計画的な修繕・改修を行う。 |
| | 文化活動を担う人材の育成・強化 | <ul style="list-style-type: none"> ・文化ボランティアの活用、優れた業績をあげた市民の表彰や激励金等の交付を通じて、文化芸術を担う人材育成をすすめている。 ・文化芸術活動者バンクや文化芸術団体・活動者の交流の場づくり等が今後の課題である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・文化ボランティアや飛騨高山文化芸術祭におけるサポーター、パートナーの募集啓発を促進する。 ・市民への顕彰事業の周知を図る。 |
| 総括 | | <ul style="list-style-type: none"> ・心の中や生活に潤いと豊かさを求める市民意識の変化のなか、文化芸術の振興を求める市民ニーズは高まっている。 ・飛騨高山文化芸術祭(平成25年度第1回)は、3年に一度の文化芸術の祭典として位置づけているが、その間においてもイベントを開催することで、継続的な文化芸術の振興を図っている。(平成24年度のイベント開催数は41件) | |

5 二次評価(企画課、総務課、財政課評価)

| 課題 | 今後の方向性 |
|---|---|
| <p>主な課題としては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術振興の必要性等が市民に十分理解されていない。 ・ということが上げられる。 | <p>市民アンケートの結果、施策に対する現在の満足度が高く、今後の重要度が低くなっているが、文化芸術は、心の豊かさを実感できる暮らしを実現していくうえで大きな役割を果たすものであるため、文化芸術振興指針に基づき、市民生活そのものに「文化芸術が薫るまち」をめざしていく必要がある。</p> <p>特に、文化芸術の必要性・重要性についての市民意識の醸成を図ったうえで、市民一人ひとりが主体的に活動できるよう、そして、みんなで文化芸術の振興に取り組めるよう、めざす姿を共有するなかで、市民・文化芸術関係団体・行政等が役割を分担し、連携しながら、文化芸術施策を幅広く展開していく必要がある。</p> |

6 外部有識者の評価・意見

| 七次総合計画における検証に対する評価・意見 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・各施策の内容について検証は「～ている」と状態のみ記載され、どの程度の成果が得られたのか不明である。同様に今後の方向性も定性的に今後取り組むことが記載されているだけで、その必要性や重要性等は不明である。 ・文化振興は費用対効果が見えにくく、また必要性等も他に比べ優先順位が低くなる類の施策なので、行政主導で取り組むものではなく、市民ニーズに忠実に、かつ意欲ある推進者の支援が望ましいが、その観点での現状・ニーズや課題分析が不明確である。 ・指標のすべてが活動指標であり、成果を把握することは難しい。文化行政は非常に難しい行政分野であり、行政の独走が市民の批判の対象となる事例も全国で見受けられる。慎重な評価が不可欠である。 |
| 今後の方向性に対する評価・意見 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・市民への理解・啓発が担い手の育成や文化意識の醸成等につながるが、そのためには意識的(無理やり)な啓発では無理があり、市民が市の文化の価値等に気づき、推進する意欲が湧くようにしていく必要がある。 ・文化については、個人の感性に左右される部分が多く、芸術家団体など作品制作者との連携や意見交換なども不可欠であり、簡単に今後の方向性は出てこないと思われる。 |
| その他意見 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・少なくとも市民ニーズは他に比べてかなり低いことから、取り組みの絞り込みと、その絞り込み方等を次期総合計画では明確化すべきである。 ・非常に評価が難しい分野であり、評価指標の設定や課題の抽出に工夫が求められる。 |

【参考】基本施策に関連する予算事業の分析・評価(平成25年度事業評価における担当課評価)

| 関連 施策 | 事業 コード | 事業名 | 評価 | | | | | 点数 | 事業費決算額(千円) | |
|----------|-----------|----------------|-----------------|-------------------|------------------|------------------|-------------------|----|------------|--------|
| | | | 市民ニ ズの確 認 | 市が実 施する必 要性 | 活動内 容の有 効性 | 執行方 法の効 率性 | 政策面 における 評価 | | H23年度 | H24年度 |
| 1-ア | 94615 | 文化振興支援事業 | A | A | A | B | B | 80 | 4,948 | 2,882 |
| 1-イ | 94605 | 美術展覧会等開催事業 | A | A | B | B | B | 70 | 2,188 | 5,886 |
| 1-イ | 94610 | 文化芸術鑑賞事業費 | A | A | B | B | B | 70 | 31,447 | 32,018 |
| 1-イ | 94630 | 飛騨高山文化芸術祭開催事業費 | A | A | B | B | B | 70 | 0 | 14,000 |
| 1-ウ | 94620 | 文化伝承館管理事業費 | A | A | B | B | A | 80 | 3,650 | 3,650 |
| 1-エ | 94600 | 文化振興事務費 | A | A | - | B | B | 75 | 166 | 134 |

| 集計 | 区分 | 個数 | | | | | 平均点 | H23年度 | H24年度 |
|----|----|----|---|---|---|-------|--------|--------|-------|
| | A | 6 | 6 | 1 | 0 | 1 | | | |
| | B | 0 | 0 | 4 | 6 | 5 | | | |
| | C | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | - | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | | | |
| | | | | | | 74.17 | 42,399 | 58,570 | |